

平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月9日

上場取引所 東

上場会社名 フロイント産業株式会社

コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伏島 巖

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 伏島 柳二郎

TEL 03-5292-0240

四半期報告書提出予定日 平成27年1月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	12,011	△3.3	585	△41.5	667	△36.2	336	△37.6
26年2月期第3四半期	12,427	△1.1	1,000	△19.4	1,046	△22.9	539	△4.6

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 392百万円 (△50.9%) 26年2月期第3四半期 799百万円 (44.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	39.04	—
26年2月期第3四半期	62.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	15,866	10,564	65.5
26年2月期	15,550	10,392	65.8

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 10,400百万円 26年2月期 10,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 2月期の連結業績予想(平成26年 3月 1日～平成27年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,500	△0.7	1,000	△22.3	1,050	△21.8	565	△28.3	65.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) フロイント化成株式会社
 平成26年3月1日付にて、当社は、連結子会社でありましたフロイント化成株式会社を吸収合併いたしました。当社の特定子会社でありましたフロイント化成株式会社は合併消滅会社となったことにより、当社の特定子会社ではなくなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期3Q	9,200,000 株	26年2月期	9,200,000 株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	577,722 株	26年2月期	577,685 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期3Q	8,622,285 株	26年2月期3Q	8,622,373 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
5. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢が改善されるなど、緩やかな回復基調が見られた一方、消費税増税前の駆け込み需要の反動減に加えて、急激な円安進行による輸入コストの上昇など、景気回復の動きにもたつきが見られ、先行き不透明な状況で推移致しました。

当社グループの主要ユーザーであります医薬業界は、医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などにより、先進国を中心に成長が鈍化しており、新興国への市場移行やジェネリック医薬品の市場拡大が進んでおります。

こうした情勢のもと、当社グループは、独創的な新製品の開発や、顧客ニーズを捉えた営業活動を展開するとともに、積極的に新分野への展開を図ってまいりました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の業績は、機械部門における装置の出荷が第4四半期に集中することや原材料価格の上昇、営業費用の増加等の影響を受け、売上高120億11百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益5億85百万円（同41.5%減）、経常利益6億67百万円（同36.2%減）、四半期純利益3億36百万円（同37.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

・機械部門

機械部門においては、受注高及び受注残高は医薬業界を中心に堅調に推移いたしました。装置の出荷が第4四半期に集中することに加え、営業費用の増加や国内における低採算案件の影響等もあり、売上高、営業利益共に減少となりました。この結果、売上高は71億49百万円（同6.8%減）、営業利益は6億12百万円（同33.9%減）となりました。

・化成品部門

化成品部門においては、主に医薬品添加剤が堅調に推移し売上高は増加となりましたが、円安を主因とした原材料価格の上昇等の影響により、営業利益は微減となりました。この結果、売上高は48億62百万円（同2.1%増）、営業利益は3億22百万円（同0.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億16百万円増加し、158億66百万円となりました。増減の主な内訳は、現金及び預金が3億90百万円減少したものの、仕掛品の増加5億63百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億21百万円があったためであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加し、53億2百万円となりました。増減の主な内訳は、前受金が1億98百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億71百万円増加し、105億64百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年10月3日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社と国内連結子会社でありましたフロイント化成株式会社との合併により、フロイント化成株式会社は消滅会社となりましたので、第1四半期連結会計期間より連結子会社は4社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,600,568	4,210,563
受取手形及び売掛金	4,409,286	4,259,465
電子記録債権	—	443
商品及び製品	202,036	299,730
仕掛品	937,572	1,500,631
原材料及び貯蔵品	535,596	657,029
繰延税金資産	210,076	221,425
前払費用	123,403	88,159
その他	345,239	429,044
貸倒引当金	△32,670	△33,929
流動資産合計	11,331,109	11,632,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	991,603	975,864
土地	1,327,906	1,328,657
その他(純額)	732,616	827,574
有形固定資産合計	3,052,125	3,132,095
無形固定資産	178,301	158,033
投資その他の資産		
繰延税金資産	157,619	150,303
その他	842,670	799,152
貸倒引当金	△11,296	△5,375
投資その他の資産合計	988,992	944,080
固定資産合計	4,219,419	4,234,210
資産合計	15,550,529	15,866,773
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,068,855	1,764,975
電子記録債務	317,482	744,384
未払法人税等	170,561	99,382
前受金	926,851	1,125,797
賞与引当金	197,204	135,271
役員賞与引当金	65,000	36,750
資産除去債務	22,000	—
その他	634,769	691,996
流動負債合計	4,402,725	4,598,557
固定負債		
退職給付引当金	176,520	178,663
資産除去債務	15,253	15,480
負ののれん	26,656	20,810
その他	536,482	489,071
固定負債合計	754,912	704,026
負債合計	5,157,637	5,302,584

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,280,522	1,280,522
利益剰余金	8,335,593	8,456,691
自己株式	△201,269	△201,313
株主資本合計	10,450,446	10,571,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,934	24,196
為替換算調整勘定	△226,280	△195,409
その他の包括利益累計額合計	△211,346	△171,212
少数株主持分	153,791	163,902
純資産合計	10,392,891	10,564,189
負債純資産合計	15,550,529	15,866,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	12,427,080	12,011,091
売上原価	8,539,288	8,266,405
売上総利益	3,887,792	3,744,685
販売費及び一般管理費	2,887,472	3,159,614
営業利益	1,000,319	585,070
営業外収益		
受取利息	1,209	688
受取技術料	11,284	11,193
負ののれん償却額	5,845	5,845
為替差益	16,572	38,890
その他	17,160	32,012
営業外収益合計	52,073	88,631
営業外費用		
支払利息	3,635	3,550
貸倒引当金繰入額	—	1,725
その他	2,466	1,126
営業外費用合計	6,102	6,402
経常利益	1,046,290	667,299
特別利益		
固定資産売却益	4,648	5,716
特別利益合計	4,648	5,716
特別損失		
固定資産売却損	—	375
固定資産除却損	453	2,351
ゴルフ会員権評価損	—	475
投資有価証券評価損	—	1,750
減損損失	22,533	—
特別損失合計	22,986	4,952
税金等調整前四半期純利益	1,027,952	668,063
法人税等	480,645	321,604
少数株主損益調整前四半期純利益	547,306	346,458
少数株主利益	8,022	9,803
四半期純利益	539,284	336,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	547,306	346,458
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,305	9,262
為替換算調整勘定	243,328	37,007
その他の包括利益合計	252,633	46,269
四半期包括利益	799,940	392,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776,378	376,789
少数株主に係る四半期包括利益	23,561	15,939

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,667,152	4,759,927	12,427,080	—	12,427,080
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,667,152	4,759,927	12,427,080	—	12,427,080
セグメント利益	925,350	324,657	1,250,007	△249,688	1,000,319

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△249,688千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化成品」セグメントにおいて、事業所移転が決定し、使用が見込まれない固定資産について、減損損失を認識いたしました。なお、当第3四半期連結累計期間における減損損失計上額は、22,533千円であります。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他	計
9,990,757	913,649	655,782	866,891	12,427,080

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 欧州 ……フランス、英国等
- (3) その他 ……中南米、アジア等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	7,149,049	4,862,041	12,011,091	—	12,011,091
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,149,049	4,862,041	12,011,091	—	12,011,091
セグメント利益	612,081	322,147	934,228	△349,158	585,070

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△349,158千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者には有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他	計
9,287,518	1,108,012	266,178	1,349,382	12,011,091

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 欧州 ……フランス、英国等
- (3) その他 ……中南米、アジア等

5. 補足情報

●受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	8,214,681	122.6	9,215,033	112.2
化成品部門	1,915,451	88.4	1,593,880	83.2
合計	10,130,133	114.2	10,808,913	106.7

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	6,144,881	125.8	7,225,808	117.6
化成品部門	543,913	92.6	293,836	54.0
合計	6,688,794	122.3	7,519,645	112.4

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
 2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	7,667,152	61.7	7,149,049	59.5
化成品部門	4,759,927	38.3	4,862,041	40.5
合計	12,427,080	100.0	12,011,091	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
 2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。